

No	監督署別	事業場名 (所在地)	スローガン	取組内容
1	四日市	阿倉川運送株式会社 大治田営業所 (四日市市)	ちょっとでも 危険を感じたら立ち止まる	当推進トライアルへの参加チャレンジのポスターを事業場内に掲示し、従業員の安全に対する意識付けを行った。 事故災害ゼロ達成のため、ドライブレコーダーの確認を徹底し、定期的な安全会議においてヒヤリハット事例等、情報共有を行った。 運転手の脳ドッグの受診を完了し、健康起因に関する事故防止を図った。
2	四日市	阿倉川運送株式会社 四日市営業所 (四日市市)	ちょっとした 危険を感じて 無災害	当推進トライアルへの参加チャレンジのポスターを事業場内に掲示し、従業員の安全に対する意識付けを行った。 事故災害ゼロ達成のため、ドライブレコーダーの確認を徹底し、定期的な安全会議においてヒヤリハット事例等、情報共有を行った。 運転手の脳ドッグの受診を完了し、健康起因に関する事故防止を図った。
3	四日市	株式会社新井組 木曾川赤地堤防補強工事 作業所 (桑名市) 【工事名】 令和元年度 木曾川赤地 川表高潮堤防補強工事	すべての災害は防ぐことができる！	当工事においては、日々の安全衛生活動を『「チャレンジアンダー2,000みえ」無災害1・2・3トライアル』達成を目標に掲げて実施した。 スローガンの現場並びに事務所で掲示や特注シールをヘルメットに貼り付け、工事関係者全員の「当たり前」の事を普通にする「現場風土の醸成」に努めた。 「すべての災害は防ぐことができる！」というスローガンを全員が共有した結果、期間中の無災害を達成した。工事完成までこの決意を完遂する！
4	四日市	石原産業株式会社 四日市工場 (四日市市)	今一度、 五感をすまして 安全確認	2か月毎に安全衛生重点取組項目を定め、リスクアセスメント及びヒヤリハット運動を啓発し、安全衛生委員会等にて事例紹介及び対策の水平展開をしている。 最近の災害が、被災者本人の安全意識・知識不足による不安全行動が原因であることから、特に指差呼称も推進している。 なお、安全衛生スローガンは全員参加でこの1年間取り組むものとして公募し、審査の上決定し、意識啓発を図っている。
5	四日市	伊藤製油株式会社 (四日市市)	思わぬところに事故の種 気付けて刈り取る安全職場 達成しよう 1・2・3トライアル 無災害	チャレンジアンダー2,000みえの月別テーマに沿って活動計画を策定し、取り組みを進めました。スローガンの各所への掲示、朝礼等での唱和、月別テーマについての情報発信などで全員の安全に対する意識を高めるように努めました。また、従来の安全パトロールに加えて、経営層による巡視を月1回実施し、抽出された不安全箇所について改善を行い、災害防止に努めました。
6	四日市	エムイーシーテクノ株式会社 E I 事業部 中部 E I 事業所 (四日市市)	全てのトラブル ゼロを目指す	「安全の確保は当社事業の全ての活動の原点である」との企業理念に基づき、社員全員が日々の活動の中で計画的にリスクアセスメントを実施し具体的に作業に対する注意が維持できる工夫としてリストバンドやリストテープを用いて危険を可視化し作業のリスクを低減させた。 このトライアルにより無災害を達成することができた。
7	四日市	エムイーシーテクノ株式会社 中部事業所 (四日市市)	全てのトラブル ゼロを目指す	「安全の確保は当社事業の全ての活動の原点である」との企業理念に基づき、現地・現物・現実の三現主義により安全活動を展開している。 主な活動としては、 工事着工前には現地でリスクKYを作業員全員で行い、リスクを低減 声掛けによるパトロール 過去事例に基づくデモ機を用いた教育の実施
8	四日市	岡田工業株式会社 (四日市市) 【工事名】 令和元年度四日市北地区 橋梁補修工事	安全スローガン 「危ないぞ！その一言で ゼロ災害！」 衛生スローガン 「快適な 職場づくりは 5 S から！」	外部パトロール員を招いた現場パトロールの実施 VR技術を使用した安全研修の実施 現場作業週休2日の取組み実施 現場、休憩所の快適化による熱中症対策の実施

No	監督署別	事業場名 (所在地)	スローガン	取組内容
9	四日市	霞工業有限会社 城南作業所 (桑名市) 【工事名】 城南第一地区海岸 海岸 高潮対策工事(その1)	慣れと油断に潜む 「危険の芽」 ハッと気づいてすぐ対策	当現場ではチャレンジアンダー2,000「みえ無災害トライアル」スローガンを現場に掲示するとともに、安全朝礼時には作業員全員が指差呼称で唱和し、安全の意識向上を図った。慣れと油断による労働災害をなくすため、建災防による建設従事者教育を実施し作業員一致団結の結果、無災害トライアルを無事故で達成することができました。ここで気を緩めることなく、工期終了までゼロ災害を継続する。
10	四日市	株式会社九電工 福王山太陽光発電所建設 工事事務所 (三重郡菰野町) 【工事名】 九電工福王山太陽光発電 所建設工事	仲間の安全、 みんなの健康、 見つけて減らそう職場の リスク	毎日、朝礼時での作業員の健康状態確認、安全十訓の唱和を行いました。 毎月の災害防止協議会での現場パトロールの強化で不安全個所の改善を行った。 熱中症対策として、支店安全課より安全教育、現場にウォーターサーバー・ミストファン・テント・熱中症応急キットを設置して、災害防止に努めた。
11	四日市	KHネオケム株式会社 四日市工場 (四日市市)	工場の安全・安心の確保 および社会的責任の達成	当工場では、8/1～8/31をリスクアセスメント強調月間として、「エイジフレンドリーな職場環境の整備」をテーマに高齢者はもちろんのこと、全年齢層が安心して働ける職場環境が形成できるようにリスクを抽出し低減する活動を行った。また指差呼称の立哨活動、一人KYの推進、過去のトラブル事例を用いた安全教育を実施し、より安全への意識を高める活動を行った。
12	四日市	小西運送株式会社 本社営業所 (四日市市)	フォークリフト使用の現場 では特に気を引き締め 達成しよう推進トライアル 無災害!	他社での事故事例において、フォークリフト使用時に災害が発生した内容を水平展開し、どの部分に原因があったかを討議し注意を促すと共に、自分自身の身は自分で守るという意味からも”指差呼称”を徹底した。 リフト作業者との意思疎通の重要性も意識するようになった。
13	四日市	三和建工株式会社 (四日市市)	作業現場の危険予知と 新型コロナウイルス感染、 熱中症予防に万全を期して 安全・健康職場を維持、達成 する。	安全衛生スローガンを事務所及び現場に掲示し社員に周知徹底を図りました。新型コロナウイルス感染予防は、手洗い・換気を重視し、定期的な消毒とマスク着用を確実に継続しています。(体温計・血圧計は常備及び体調確認) 熱中症予防対策は、空調服の配布や大型冷凍ストッカーを導入し、最適な温度での水分補給を実施しました。
14	四日市	JSR株式会社 四日市工場 (四日市市)	不安全行動を見逃さない 安全文化を築いていこう!	「無災害トライアル」の安全衛生スローガンを設定し、事業場の従業員通用門へ掲示するとともに、社内のイントラネットに本トライアルへ参加する表明を行い、従業員に対する目標達成意識の高揚を図ることにより無事故無災害を達成することができた。
15	四日市	杉栄開発株式会社 石原産業(株)四日市工場 内 (四日市市)	社内ルールの周知と 労働災害ゼロの達成	過去の事故事例の際に立てた対策が実際に守られているかを確認 また、過去の事故事例に基づいて立てた対策が現在でも有効に機能するかのチェックし現実にそぐわない場合は過去に立てた対策を見直す 職場巡視を定期的に行い不安全行動を是正する 現場からのヒヤリハットを検討し、不安全な状態を是正する
16	四日市	大輝株式会社 (桑名郡木曾岬町)	安全は基本行動! 危険予知を確実に実行し 無災害	倉庫内や屋外でのフォークリフトの運転作業を管理者が対面指導し改善点を指導し、特に危険予知行動に重点をおいた。荷物の積み込み等で持ち上げる際の腰に負担にならない作業方法を現場指導、ホームから飛びおりのではなく階段を使用しケガの防止に努めるように指導しました。

No	監督署別	事業場名 (所在地)	スローガン	取組内容
17	四日市	太平洋セメント株式会社 藤原工場 (いなべ市)	行動災害撲滅へ向けた ルール完全遵守の定着	<ol style="list-style-type: none"> 1 工場ルール、安衛法により決められたルールの遵守が100%実施できた。 2 各作業、行動前のKY実施によりリスク低減実施と、各作業のKYチェック実施ができた。 3 安全パトロールの活性化で、日常、定修パトロールを実施し、相互注意と声掛けができた。 4 安全教育の充実化では新規入構者、転入者、新入従業員教育を実施した。 5 設備の本質安全化については、構内設備不具合改善にて、抽出と改善を行った。 6 熱中症対策の実行として、各作業場のWBGTにより作業場の改善と工場標準書作成、指導した。
18	四日市	D I C 株式会社 四日市工場 (四日市市)	安全操業に徹し、 安定供給を果たすと共に、 更なる競争優位性を目指す	<p>安全衛生委員会による現場パトロールの実施(12回/年) 安全管理者、衛生管理者等、各職制による安全衛生パトロールの実施(適宣) 各種講習会(DVD視聴、eラーニング含む)の実施(フォークリフト、交通安全等) 安全体感教育の実施(挟まれ・巻き込まれ、墜落制止用器具、溶剤爆発等の体感教育) 各種訓練の実施(地震津波避難訓練、夜間防災訓練、総合防災訓練等) D I C 安全誓いの碑(9/6:従業員各位で1年間の安全を宣言し、決意する日としている。)</p>
19	四日市	株式会社中田商事 四日市営業所 (四日市市)	交通労働災害ゼロ、 休業災害ゼロ	<p>ヒヤリハット事例を出し合い、小グループでの対策会議(毎日) 点呼時には重点取組事項の伝達 変化点における添乗指導の実施 定期的な安全パトロールの実施</p>
20	四日市	株式会社中村組 (いなべ市) 【工事名】 令和元年度東海環状二之 瀬地区改良工事	安全は 常に基本の積み重ね	<p>朝礼後の全員での危険箇所発見の為の現場パトロール 重機作業時の合図者の配置 現場内危険箇所発見時の意見交換 スローガンの垂れ幕の設置</p>
21	四日市	株式会社中村組 (四日市市)	焦らず 無理せず 怠らず 手順守って ゼロ災職場	<p>各現場において、朝礼での安全教育(毎日)や安全衛生協議会(月2回)を実施し、元請・下請会社の安全意識の向上を図った。全社員対象に毎月1回安全集会を安全意識向上を目的として行っている。また、各部の安全衛生委員による安全衛生委員会を実施し、現場パトロールの報告や長時間労働等の労働環境について協議し、結果を各部に周知した。毎月全社員に安全衛生資料を配布し、安全衛生意識の向上を図った。 以上の取組を行い積極的に安全衛生活動を実施した。</p>
22	四日市	日本土建株式会社 (いなべ市) 【工事名】 令和元年度東海環状片樋 中整備工事	安全は 何よりも優先する	<p>熱中症対策として、空調服の貸し出し、現場休憩所に冷房設備及び冷蔵庫を設置し、避暑対策を行った。また、熱中症対策応急キットを常備し、熱中症飴を配布した。 高所作業において、墜落・転落防止対策として、安全設備(親綱・親綱支柱・緊張器)を常備し、対応した。 その結果、無事故・無災害で工事の竣工を迎える事が出来た。</p>
23	四日市	日本土建株式会社 (いなべ市) 【工事名】 令和元年度東海環状片樋 南整備工事	安全は 何よりも優先する	<p>仮橋・仮栈橋工の架設工事であり、クレーンによる吊り込み作業が毎日であったため、クレーン災害防止を優先とした。 取組内容として、 吊荷の地切り確認 吊荷直下の人払い 作業員の頭上を通過する吊荷の合図禁止 を施工に携わる者すべての者に周知させた。起伏のない労務の配置、鋼材の搬入にて施工にゆとりを持たせ、密になる工程の策定を極力回避した。その結果、軽微なケガもない無事故無災害で工事を完成することができた。</p>

No	監督署別	事業場名 (所在地)	スローガン	取組内容
24	四日市	日本アエロジル株式会社 四日市工場 (四日市市)	規則手順は守り守らせる 文化の定着	毎月の安全衛生委員会にてコンビナート他社災害事例や親会社から送られてくる各国の「事故から学ぶ」という災害事例を参考にして同じような災害が発生しないように話し合い従業員全員に周知している。また、安全衛生委員による毎月の安全衛生査察で整理整頓状況や不安全箇所を発掘をおこない是正させている。尚、事務所を含む工場内の3段以上の踏み台は全て手摺付きに交換を行った。
25	四日市	日本カラリング株式会社 (四日市市)	私たちは不安全行動をしません。 共に働く仲間にもさせません。	1 設備と作業に関わる安全性の向上 工場内災害リスク把握とリスク低減対策の推進(リスクアセスメント) 2 安全ルール順守率向上活動の推進 安全ルールについての意見交換と議論によりルール順守意識を強化 3 労使間情報共有による無災害創業の意思強化 安全衛生委員会で自社安全活動と他社労災事例の共有と議論を実施
26	四日市	藤原工業株式会社 (四日市市)	安全をすべてに優先する	「月例神事の実施」 毎月月初に、社内の神棚に安全祈願をいただいています。月例神事の日、社員全員が参列し、神主さんからお祓いを受けます。この日の約20分間の祈祷の際は、全員が心を静め、自分の身を清め、より一層の安全運転・安全作業に取り組む意識を熟成する機会としています。
27	四日市	三重農水株式会社 (四日市市)	みんなで高めよう 安全への意識、 みんなで作ろう 安全な職場！	毎月乗務員を対象に、交通事故防止のため安全運転指導の実施と健康起因事故防止のため健康管理に関する指導教育を実施してきました。また毎月安全衛生に関するアンケートを実施し、アンケート結果を基に安全で安心のできる職場環境を作っていくことに役立ててきました。
28	四日市	三菱ケミカルエンジニアリング株式会社 四日市事業所 (四日市市)	危険作業 しない させない 見逃さない 互いに声掛け ゼロ災達成	他場所、他社の事故事例を安全衛生委員会で紹介し、各部署で討議し安全意識の底上げを図った。 各パトロールで「安全を基本とする行動・活動」を説明し周知を実施。 コミュニケーションボードに当月の過去災害事例を掲示、啓発を実施。
29	四日市	ライオン・スペシャリティ ケミカルズ株式会社 四日市工場 (四日市市)	従業員全員が一丸となり、 達成しよう無災害 1・2・3トライアル！	1 非正常作業における安全対策のためのガイドラインの事業所内の周知。 2 安全化手順の習慣化として非正常作業着手確認書の発行を徹底。 3 安全リーダー2名(中災防研修参加)が指導者となり、K Y指導者育成教育(班長、班代を対象)を行い、製造G4班に対して全て完了、その後、各班員へ教育を展開。 4 安全リーダーが指導者となり、生産管理Gへ初めてK Y基礎教育を実施。
30	四日市	株式会社ロンピック 三菱ケミカル川尻工場 地区 (四日市市)	時間と心にゆとりを持って 焦らず急がず一呼吸 みんなで目指そう ゼロ災職場	当事業場では、年間を通じて全員参加の安全衛生活動に取り組んでいますが、今回の『「チャレンジアンダー2,000みえ」無災害1・2・3トライアル』への参加を良い刺激とし、メンバー全員が高い士気で活動を推進し、ゼロ災害を継続しています。
31	四日市	株式会社ロンピック 三菱ケミカル大治田工場 地区 (四日市市)	時間と心にゆとりを持って 焦らず急がず一呼吸 みんなで目指そう ゼロ災職場	当事業場では、年間を通じて全員参加の安全衛生活動に取り組んでいますが、今回の『「チャレンジアンダー2,000みえ」無災害1・2・3トライアル』への参加を良い刺激とし、メンバー全員が高い士気で活動を推進し、ゼロ災害を継続しています。

No	監督署別	事業場名 (所在地)	スローガン	取組内容
32	四日市	株式会社ロンピック 三菱ケミカル四日市工場 地区 (四日市市)	時間と心にゆとりを持って 焦らず急がず一呼吸 みんなで目指そう ゼロ災職場	当事業場では、年間を通じて全員参加の安全衛生活動に取り組んでいますが、今回の『「チャレンジアンダー2,000みえ」無災害1・2・3トライアル』への参加を良い刺激とし、メンバー全員が高い士気で活動を推進し、ゼロ災害を継続しています。
33	松阪	イセゴム工業株式会社 大台工場 (多気郡)	全員参加による 作ろう 災害発生"0"の職場	毎月2回の各工程での持回りで管理監督者による点検の実施と、前回の点検での指導事項に対し改善結果の現地による報告会実施
34	松阪	株式会社オオコーチ 勢和工場 (多気郡)	安全第一 みんなの笑顔で アンダー2,000	取り組みを徹底するため、ダウンロードした書式に社名・スローガンを入れ、事務所出入口に掲示、社内従業員は勿論、社外の方にも取り組みをオープンにしてアピールした。また日々、職場管理者によるチェック及び声掛け、毎月本社管理者によるパトロールを実施した。各会議では、達成へのカウントダウン報告により意識統一を図った。
35	松阪	株式会社サイネックス 制作本部 (松阪市)	安全最優先で作業をおこない 労働災害ゼロを達成する	運用中の安全作業マニュアル(リスクアセスメント)30種すべての見直し 安全管理者によるリスクアセスメント調査の強化 安全衛生委員会にて同業界における事故事例の紹介と社内への注意喚起 「無災害トライアルスローガン」ポスターの掲示
36	松阪	住友理工株式会社 松阪事業所 (松阪市)	「安全は全てに優先する」 グローバルに皆で達成 無災害!	災害の真因追求と類似災害撲滅 安全文化の再構築活動 法令遵守への取り組み 快適職場形成活動 安全衛生教育の徹底と充実 その他、健康増進・防火・防災・交通安全など
37	松阪	株式会社竹中工務店 名古屋支店 (松阪市) 【工事名】 ニプロファーマイ勢工場 E C棟新築工事	安全が最優先で、 123日間の無災害を 達成しよう!	123日間の無災害を達成するために、作業前のR A K Yについて竹中職員によるチェック指導及びミーティングへの参加により充実化を図り、作業員の安全意識の高揚・危険の先読みによる災害の防止に努めた。 また、日々の安全巡回にて危険個所や不安全行動が発見された場合には、即座に是正を行うことを徹底した。
38	松阪	株式会社田村組 (松阪市)	交通災害・重機災害・転落 墜落災害ゼロを目指す	毎月、全員参加による労働安全衛生に関する会議の開催 毎月、複数人による各現場パトロールの実施 各種安全教育・講習への参加 新型コロナウイルス感染防止策として、毎日の体温測定、消毒液の設置、マスクの配布
39	松阪	トライス株式会社 玉城工場 (松阪市)	意識を高め危険予知 リスクを摘み取り事故回避 みんなで作ろう安全職場	安全衛生委員会を通じて「チャレンジアンダー2,000みえ」への参加を従業員に周知し、無災害に向け取り組むことでスタートしました。 期間中は、安全衛生パトロールの実施や暑熱作業担当者への熱中症に関する教育の実施、その他挟まれ巻き込まれや墜落防止対策など、労使とともに取り組んできた結果、無災害を達成することができました。
40	松阪	トライス株式会社 本社・工場 (松阪市)	意識を高め危険予知 リスクを摘み取り事故回避 みんなで作ろう安全職場	安全衛生委員会を通じて「チャレンジアンダー2,000みえ」への参加を従業員に周知し、無災害に向け取り組むことでスタートしました。 期間中は、安全衛生パトロールの実施や暑熱作業担当者への熱中症に関する教育の実施、その他挟まれ巻き込まれや墜落防止対策など、労使とともに取り組んできた結果、無災害を達成することができました。

No	監督署別	事業場名 (所在地)	スローガン	取組内容
41	松阪	トライス株式会社 松阪広陽工場 (松阪市)	意識を高め危険予知 リスクを摘み取り事故回避 みんなで作ろう安全職場	安全衛生委員会を通じて「チャレンジアンダー2,000みえ」への参加を従業員に周知し、無災害に向け取り組むことでスタートしました。 期間中は、安全衛生パトロールの実施や暑熱作業担当者への熱中症に関する教育の実施、その他挟まれ巻き込まれや墜落防止対策など、労使とともに取り組んできた結果、無災害を達成することができました。
42	松阪	中井土木株式会社 (松阪市)	声かけは安全作業の第一歩	全現場においてリスクアセスメントを取り入れたKY活動の実施。 現場の就労者により作成されたヒヤリハットを基に検討した対策の実践。 建設業労働災害防止協会 安全管理士による安全指導及びパトロールの実施。 全現場においてコロナ感染拡大防止対策の実施とチェック。
43	松阪	株式会社NAKAGAWA (松阪市)	小さな改善の積み重ねで 大きな災害をなくす	安全パトロールの実施、特に同業他社で発生の多い「挟まれる」に的を絞った点検と改善を実施 月次の安全衛生委員会で啓発活動実施 ヒヤリハット提案活動で現場からの吸い上げと改善実施
44	松阪	ニプロファーマ株式会社 伊勢工場 (松阪市)	「安全第一への意識改革」 「不安全状態・不安全行動の排除」 達成しよう無災害1・2・3トライアル!	安全管理者、衛生管理者による工場内の巡視点検、ヒヤリハット報告からのリスクアセスメントの実施、従業員の「身の回りの危険個所の抽出と掲示」などの安全活動を行い、労使が一丸となり安全への取り組みを行った結果、無災害を達成することができた。
45	松阪	前田・北村建設工事共同 企業体 アクアイグニス多気ホテル 作業所 (多気郡) 【工事名】 (仮称)アクアイグニス 多度ホテル新築工事	あわてず あせらず あたりまえの作業が 安全・安心に 作業出来る作業所	1. 職長会活動の活性化 2. 通勤災害の防止 3. 三大災害の絶滅 4. 作業前打ち合わせの確実な実施 職員、協力会社、設計者、監理者を含めた一声掛け運動の実施を行う。
46	松阪	株式会社松本組 (松阪市) 【工事名】 平成31年度広域二級第 A03-07分0007 号 二級河川三渡川河川 改修(河道掘削)工事	「危ないよ」 その一声が事故ふせぐ	コロナ対策としてマスク着用、アルコールジェルや体温計の設置を行いました。また工事を現場事務所として使用していたため、屋外に机と椅子を置き下請け業者との打ち合わせ場所としました。そして、スポーツドリンクやタブレットの配布などを行い熱中症にも注意しながらエアコン使用中も換気をしてコロナ対策をしました。
47	松阪	丸亀産業株式会社 (松阪市)	かくれた危険 みんなで摘み取り ゼロ災害	「チャレンジアンダー2,000みえ」のスローガンを社内及び全現場掲示した 安全パトロールの実施(毎月実施)うち協力会との合同パトロール年4回 安全衛生委員会による安全衛生会議開催で情報共有(毎月実施) 安全大会(本年6月に予定していましたがコロナウイルス感染予防のため中止)ただし安全表彰に関しては安全協力会、弊社に分けて実施 安全衛生研修会実施(感染予防対策をして9月に実施) 外部講師による現場パトロールの実施(愛知建災防 安全管理士)

No	監督署別	事業場名 (所在地)	スローガン	取組内容
48	松阪	三重化学工業株式会社 (松阪市)	社員の健康が第一・安全が 全てに優先する	工場・倉庫内の整理・整頓を毎日全員で行い事故ゼロを達成 フォークリフト使用時は社員のみならず業者にも全てにヘル メット着用を義務化し事故ゼロ達成 段差のある所に「足元注意」を掲示し、暗所には人感セン サー付き照明を付け事故ゼロ達成 毎朝の体温・体調の申告ルールを行い就業の可否判断をする と共に週一回ラジオ体操して健康管理 営業車輛使用時は長時間運転の禁止と早めのライトオン運動 を通じ事故ゼロ達成
49	松阪	株式会社百木組 (多気郡多気町)	みんなで高める安全意識 達成しよう、 明るい職場と無災害！！	無事故・無災害にこだわり、点呼時の体調確認及び検温の徹 底、一日の重点取り組み事項を運行管理者より伝達し、安全と 健康に対する意識の持ち方を向上させた。 社内安全衛生協議会の実施(月1回) 社内安全パトロールの実施(月1回)
50	松阪	株式会社山邊興運 (多気郡明和町)	安全輸送の徹底	現場の指導者に従う ヘルメット着用(必要なとき) 安全靴着用 周りのリフトに注意 安全呼称し作業、運転
51	津	株式会社アイシン 津出張所 (津市)	みんなで 積み立てよう ゼロ災日数を！！	パトロールを強化し、安全意識の向上を目指しました。ま た、毎月の安全教育の際に過去の災害を研究し、対策を全員で 考える機会を設けました。
52	津	株式会社アイシン 津営業所 JFEエンジニアリング 株式会社内 (津市)	安全に 近道・抜け道・妥協なし みんなで高める安全意識！	私達は、日頃から5Sを念頭に置き、仕事の中の些細な危険 要因を汲み上げ日々注意喚起を行っています。作業員がケガを することが無いよう、その日の作業内容の確認、どこに気を付 けるべきか、全工程を把握した上で安全に対する意識を高めて います。また、現場では随時、安全パトロールを実施してお り、不安全行為や直近の事故事例があれば情報を共有し、常に 安全に作業ができるような取り組みを行っています。
53	津	有限会社エース 三重営業所 (鈴鹿市)	トリプルゼロ ・休業災害0 ・不休災害0 ・交通労働災害0 を目指す	安全ミーティング 毎月実施 小集団活動実施内容(安全目標設定・改善提案・KYT等) ヒヤリハットを毎月提出し、報告内容を分析・改善 安全衛生管理者による、各現場安全パトロールを実施 事前に報告のあった危険個所の改善 不安全行動の指導・教育
54	津	エセックス古河 マグネットワイヤジャパ ン株式会社 三重工場 (亀山市)	SIDSサイクルの 実践で みんなが 安全行動・ゼロ災害	小規模安全自主研の推進による、製造現場での安全レベル 向上 SIDSサイクルを通じた対話と標準化による災害防止 重要なヒヤリハット報告について、分析と改善
55	津	株式会社エフテック 亀山事業所 (亀山市)	安全は一人ひとりの心がけ やって安心 やらずに後悔 気付いたときにすぐ改善 みんなで作ろうゼロ災職場	当事業所では年間を通じて全員参加での安全衛生活動に取り 組んでいます。『「チャレンジアングラー2,000みえ」無災 害1・2・3トライアル』への挑戦を契機にし、各職場での安 全教育の実施と職場巡視を強化し不安全箇所の早期発見・早期 改善に努めた結果、無災害を達成することが出来ました。

No	監督署別	事業場名 (所在地)	スローガン	取組内容
56	津	岡田工業株式会社 名阪国道管内整備工事事務所 (亀山市) 【工事名】 令和2年度名阪国道管内 整備工事	安全スローガン 「『大丈夫だろう!』では なく『大丈夫かな?』と 考えよう」 衛生スローガン 「快適な 職場づくりは 5 Sから!」	V R 技術を使用した安全研修の実施 現場作業週休2日の取組み実施 熱中症対策(クールネック配布、熱中飴等常備) 岡田職員がポケット冊子(安全法令ダイジェスト)を常備し法令の遵守や安全意識を作業員に日々指導 工事車両に補助ミラーを設置し、IC 進入時、規制退出や車線変更時に死角を減らした LED 付フィンガーグローブを使用して手元を明るくし、暗闇作業を減らした
57	津	鹿島・日本土建・三重農 林特定建設工事共同企業 体 大里浄水場JV工事事務 所 (津市) 【工事名】 大里浄水場沈殿池等築造 工事	徹底した4 S と 安全安心な作業環境で 事故災害を撲滅!	『現場の安全は4 S から』のスローガンのもと、工事中の資 機材の置き方から、人と機械の動線の確保及び分離及び明示、 一仕事ひと片付けを徹底することで、事故災害発生リスクを 削減し、無事故無災害を達成した。 作業員の意見と気持ちを汲み取り、清潔な休憩所・トイレの 提供、現場仮設ハウスの増設等により、仕事をしやすい環境が 整い、作業員の安全意識向上の効果により不安全行動による災 害をゼロとすることができた。
58	津	株式会社カンキョー (津市) 【工事名】 令和2年度水工第34号 公共下水道事業に伴う柳 山津興地内配水管移設工 事	「危ないぞ!」 注意するの思いやり みんなで広げる安全意識	推進運動への参加を安全衛生委員会にて社員に表明し、参加 ポスターを事業所内と各現場事務所の複数個所に掲示し、毎月 行う安全衛生委員会の災害報告にあわせて繰り返し趣旨の周知 を行いました。また、事業主パトロールの実施時には今まで以 上に危険の掘り下げを行いました。 この結果、期間中の労働災害の発生はありませんでした。
59	津	三恵技研工業株式会社 安濃工場 (津市)	工場組織全体でリスクを 低減し、安全で衛生的な 環境を構築する。 「Safety save s your life」	1 安全コンサルタントの指導による工場巡視、転倒防止セミ ナー、リスクアセスメントの指導を受け安全点検、安全管理を 行った。 2 安全衛生委員会の下部組織として課別の安全衛生委員会を 毎月実施して各工場の安全管理体制を強化するために課別に安 全パトロールを実施した。 3 工場のすべての管理職による月2回の工場巡視を実施し、 改善をはかった。 4 危険予知トレーニングを点数化して、危険を予知する人材 育成を実施した。点数が低い人(危険予知が低い人)は、再度、 監督者による指導を実施した。 5 リスクアセスメントにより工場の床、設備の改善を行い、 「リスク」の低減に努めた。 6 新規入場者に安全教育指導(工場ルール、危険予知、5 S など)を、派遣社員を含む全員に実施した。
60	津	サンディック株式会社 三重工場 (鈴鹿市)	「安全行動7ポイント」、 「基本作業」を遵守しよう	安全行動遵守について、チェック表を用いた自己・相互 チェックを毎月実施(自分で行動を振り返るだけでなく、仲間 の行動もチェックする) 他部署の労災・ヒヤリの、災害事故事例研究を毎月実施 毎月のHHK提案によるリスクの低減活動と担当及び職責に よるフォローの実施 毎月の安全衛生委員会で、社員からの指摘要望を抽出しフォ ロー状況を確認 職責者による社内の日次巡視及び、声掛け運動
61	津	資昇運輸株式会社 (津市)	交通災害ゼロ 労働災害ゼロ の達成	高所作業低減への創意工夫 作業時、ヘルメット・安全靴の100%着用 駐停車時、輪止めの徹底
62	津	ジャパンマリンユナイ テッド株式会社 津事業所 (津市)	「ゼロ災害宣言・健康宣言」 墜落転落・挟まれ災害の 撲滅と安全基盤の強化	J I S H A 方式 O S H M S に基づく労働安全衛生マネジメン トプランにて設定した活動、取り組みを実施 「災害多発を防止する即効性を期待した取り組み」と題し、 下記活動を実施 事業所長とライン長又は請負業者安全衛生責任者による合同 職場巡視 作業員に対する墜落・転落・挟まれ災害教育の実施 所ペナルティー制度の強化及び巡視強化

No	監督署別	事業場名 (所在地)	スローガン	取組内容
63	津	勢州建設株式会社 稲生第一汚水幹線下水管 推進工事事務所 (鈴鹿市) 【工事名】 稲生第一汚水幹線下水管 推進工事	安全のルールを守って、 無災害の職場をつくろう。	当現場には、若手の作業員(10代後半)が2名いるため、現場乗り込み前に、作業手順、危険箇所等について十分に打ち合わせを行い、現場へ入場してもらった。その後の現場でも朝礼時に当日の危険個所の洗い出しを実施し、危険個所の周知を行い、作業を行ってきた。その効果もあり、工事開始から現在に至るまで事故及びケガも発生することなく現場が進んでおります。残り、1ヵ月半程の作業となりますが継続して行っていきます。
64	津	大建工業株式会社 三重工場 (津市)	年度無災害を達成する。	守られ度チェックでの守れない事を守らせる・守れる体質づくり 安全柵・安全カバーの強化(稼働中、危険個所に触れられない事) 架台や階段の見直し及び改善
65	津	中勢林業株式会社 (津市)	みんなで摘みとる危険の芽 チームワークで災害ゼロ	職場での気付きを大切にし、それを職員の皆で共有できるように原点に戻り、報告・連絡・相談を心がけました。また、気付いたことへの対策、対処のスピード感にも力を入れ、事故や災害がおこらない環境作りをしました。
66	津	株式会社津マリン製作所 (津市)	確認動作の習慣化 ひとり一人が実践し 無くそう不安全行動	当社では年間を通して全員参加の安全活動に取り組んでおります。管理監督者によるパトロールも実施しており、3Sを中心に職場の不安全状態を是正させるようにしています。各職場ではリスクアセスメントの実施、見直し等と指差呼称での確認を確実にを行い、不安全行動の撲滅を図りました。また、熱中症対策として例年通りスポーツドリンク、麦茶を配布するとともに、今年新たに空調服の導入を試みました。
67	津	日本土建株式会社 (津市) 【工事名】 主要地方道津関線(吉田山橋)橋梁耐震対策(補強)工事	安全は 何よりも優先する	3DモデルVRの活用:施工前に3DモデルVRで施工状況を疑似体験 施工前、3DモデルVRによる疑似体験ができることで、作業環境、作業手順等について、より具体的に確認でき、労働災害の防止に役立ちました。 女性パトロールの活用:女性ならではの視点から現場の安全衛生面をチェック ヒヤリハット事例の活用:ヒヤリハット事例があった翌日の朝礼KY活動に活用
68	津	日本土建株式会社 (津市) 【工事名】 令和2年度津松阪港津地区(阿漕浦・御殿場)1-2工区堤防(改良)本体工事	安全は 何よりも優先する	作業所として「危ないぞ!気をつける 声かけあって 目指せ ゼロ災」を掲げ、日々の作業を実施してきました。元請職員はもとより、下請会社の職長、作業員も含め、現場に従事する作業員全員が、声を掛け合える、そんな現場を目指しています。危ないなと感じる作業をしていたとき、改善したほうが良い安全設備を見つけたときなど、誰もが声を出して、危険の要因を排除してきたことで、災害の発生を防止できたと考えます。「声掛け」については、現場に従事する全員の安全意識向上につながりました。
69	津	日本土建株式会社 (津市) 【工事名】 令和元年度津松阪港津地区(阿漕浦・御殿場)1-2工区堤防(改良)本体工事	安全は 何よりも優先する	この3ヶ月間無事故・無災害を目標に日々の作業手順の確認、始業前点検、危険予知活動を確実に実施し、現場には標識、垂れ幕等を複数個所に取り付け注意喚起を促しました。また社内安全パトロールを複数回実施して、問題点、課題点等を抽出し、その都度分析、改善し労働災害防止に努めました。引き続き工事完成まで無災害達成に取り組めます。

No	監督署別	事業場名 (所在地)	スローガン	取組内容
70	津	日本土建・東海土建 特定建設工事共同企業体 (津市) 【工事名】 令和元年度営財管補継第40号 津市本庁舎大規模改修その他工事	安全は 何よりも優先する	当建築作業所では、安全衛生スローガンを全作業員に周知するため、現場内に横断幕を掲示しました。また、安全衛生協議会において、各協力業者にスローガンの趣旨、取り組みについて説明し、安全意識を高め、全員一丸となって無災害を達成しました。今後も工事が続きますので、無災害を継続できるよう努めてまいります。
71	津	株式会社日本陸送 (鈴鹿市)	感性を磨いて改善 危険個所みんなで築く 「ゼロ災害」	安全衛生委員会による各職場巡視で不安全箇所、不安全行動が無いかの確認を総点検実施。 安全協議会にて、加盟協力業社様へ推進トライアルの趣旨説明で賛同を頂き、社内従業員、協力業社も含めた安全衛生活動を実施。
72	津	株式会社ハイパーツ三重 久居事業所 (津市)	従業員全体を巻き込んだ 安全活動により、 安全意識・環境を向上させ、 無災害職場を構築する。	当社では3つの安全活動を主体として実践しております。 活動内容としては K Y T活動：週3回実践し、危険予知感性の向上及び安全意識の高揚を図る ヒヤリハット活動：月1回従業員から危険体験を吸い上げ是正し、危険個所を排除 サイクル点検：監督者の現場巡視にて危険個所を抽出し、是正を実施 上記3つの活動を主として実践し「チャレンジアンダー2,000みえ」の達成及び2,870日(11月末時点)の無災害を継続する事が出来ております。
73	津	マクセルクレハ株式会社 亀山工場 (亀山市)	3 S 徹底で変わります！ 安全職場に変えます！	設備リスクアセスメントの実施 過去のリスクアセスメントの対策見直し 関係会社との相互安全パトロール実施 DVD教育 津・亀山で実施 リスクアセスメントのソフト対策からハード対策へ
74	津	マクセルクレハ株式会社 津工場 (津市)	3 S 徹底で変わります！ 安全職場に変えます！	設備リスクアセスメントの実施 過去のリスクアセスメントの対策見直し 関係会社との相互安全パトロール実施 DVD教育 津・亀山で実施 リスクアセスメントのソフト対策からハード対策へ
75	津	ミエコーティング株式会社 J M U津事業所内 (津市)	一步先読む危険予知 コミュニケーションを忘れ ずに みんなで目指そう ゼロ災職場	弊社は、日系及び研修生の比率が高く言葉の障壁があることから、分かり易い日本語での会話に心掛けて意思疎通を図りながら安全活動に取り組みました。 活動項目1 朝のミーティングで、当日の作業に関する危険予知の発言とフォローの実施 活動項目2 安全会議での災害事例の読み合わせと、自職場に置き換えた事例研究の実施 活動項目3 作業場の3 S 推進活動の実践(整理・整頓・清掃)
76	津	ミエコーティング株式会社 津営業所 J F Eエンジニアリング(株)内 (津市)	安全に 近道・抜け道・妥協なし みんなで高める安全意識！	私達は、週初めパトロール、月初めパトロール、代表者パトロール、協力会パトロール、安全衛生パトロール等、日頃からさまざまなパトロールを実施し、危険要因抽出を汲み上げ、作業者全員に声掛けをし、無災害1・2・3トライアルに取り組みを行いました。その結果、無事故・無災害を達成する事が出来ました。今後も、継続していきたいと思っております。

No	監督署別	事業場名 (所在地)	スローガン	取組内容
77	津	八千代工業株式会社 鈴鹿工場 亀山事業所 (亀山市)	自分で考え行動！ 「かもしれない」行動で 危険を回避！	8月 4日：連休工事安全大会実施 8月 20日：全社安全衛生委員会開催（埼玉、栃木、三重） 9月 1日：転勤者安全衛生教育実施 9月 25日：新入社員配属前安全衛生研修実施 9月 25日：リスクアセスメント研修実施 10月 1日、12月 1日：転勤者安全衛生研修実施 4月1日～12月29日 リスクアセスメント実施抽出件数132件 レベル 以上9 5件 さらに24件に絞り緊急性の案件13件を実施
78	津	八千代工業株式会社 鈴鹿工場 (鈴鹿市)	自分で考え行動！ 「かもしれない」行動で 危険を回避！	8月 4日：連休工事安全大会実施 8月 20日：全社安全衛生委員会開催（埼玉、栃木、三重） 9月 1日：転勤者安全衛生教育実施 9月 25日：新入社員配属前安全衛生研修実施 9月 25日：リスクアセスメント研修実施 10月 1日、12月 1日：転勤者安全衛生研修実施 4月1日～12月29日 リスクアセスメント実施抽出件数36件 レベル 以上6件
79	伊勢	朝日丸建設株式会社 (伊勢市) 【工事名】 令和元年度宮川勢田川河 道整備工事	危ないぞ！ その一言が仲間を守る	「チャレンジアンダー2,000みえ」のスローガンを現場 事務所に掲示し、新規入場者教育や毎月の安全教育時に周知 し、日々の声掛けで不安全行動から重大事故へつながることを 防止する取り組みを実施しました。工事完了まで引き続き無事 故無災害の達成を目標に取り組みます。
80	伊勢	日本土建・森組建設工事 共同企業体 (伊勢市) 【工事名】 神園工業団地造成工事	安全は 何よりも 優先す る	朝礼時に、安全指示内容を確認し、内容を補足して作業員に 伝えた。 KYの実施の立合いを行った。 現場巡視の回数を増やした。 ささなことでも、即座に是正させた。 作業終了後に本日の状況について雑談を交え話し合った。
81	伊勢	パナソニック株式会社 メカトロニクス事業部 伊勢工場 (度会郡玉城町)	危険に気付く感性と 互いに伝えるアドバイス ゼロ災築こうみんなの声 で！	安全道場（安全教育の場）における全従業員への危険予知教 育を実施致しました。 各職場において指差呼称の定着化活動を展開致しました。 各職場に目安箱を設けヒヤリハットの対策をし災害を未然に 防ぐ活動を行いました。 職場内パトロールを強化し不安全個所の撲滅に取り組みまし た。
82	伊勢	村田機械株式会社 伊勢事業所 (伊勢市)	注意を受けたら 素直に「ありがとう」 みんなで守ろう人と職場	「真の”ゼロ災職場”の実現」に向かって、各月毎にテーマ を掲げ、事業所全体で安全衛生活動に取り組みました。実施し た主なテーマは、8月：分電盤等の電気設備一斉点検、9月： AED設置個所の周知、10月：化学物質RA実施確認・定時 退社日の声掛け運動、11月：ポケットハンド撲滅活動、空気 清浄機の利用チェックで、各職場で取り組み、安全意識の向上 につなげました。
83	伊勢	有限会社山彦經節 生加工工場 (志摩市)	無災害達成 1・2・3	フォークリフト運転時の安全確認の励行 不安定な物品の置き方の禁止 機械類の始動時の安全作用確認 機械類のトラブル時の非常停止の即応 階段での滑り・転落等の防止 整理整頓による転倒・つまづき等の防止
84	伊勢	横浜ゴム株式会社 三重工場 (伊勢市)	安全は すべてにおいて最優先 今日も笑顔で我が家へ帰る	「安全衛生は全ての基本である」という理念のもと、「人」 「もの」「しくみ」に着目した安全活動を展開している。特に 人に迫る活動では「安全な行動ができる人づくり」を推進し1 対1教育、安全マン評価を行い、個人の強み弱みを把握してい る。OSHMSでは、安全衛生方針、安全衛生目標、安全衛生 計画を策定し、PDCAサイクルを回しながら継続的な改善を 行っている。

No	監督署別	事業場名 (所在地)	スローガン	取組内容
85	伊賀	大林・佐藤・日本国土特定建設工事共同企業体 川上ダムJ V工事事務所 (伊賀市) 【工事名】 川上ダム本体建設工事	危ないと言える勇気が仲間を守る、 みんなで築く川上ダム、 達成しよう無災害！	安全衛生管理体制の確立・拡充 所長の強いリーダーシップによる労働災害の防止 自主的安全衛生活動の推進 危険予知活動に安全点検・化学物質のリスクアセスメントを追加 墜落・転落災害防止対策 安全帯使用推進強調月間の実施 点検・検査・測定 工事用機械は、日常点検を含む法令点検を確実に行う。 資格・教育・訓練、健康診断の実施及び健康保持推進 協力会社への援助指導
86	伊賀	ケイミュー株式会社 伊賀事業所 (伊賀市)	急ぐ時こそ一呼吸 確かな手順で ゼロ災害	「決められたルールの再確認」：まもるべきルールを学び実践に結びつける 「新E Pレベルの計画通りの推進」：設備の本質安全化を計画的に推進する 「防火、防災予防の推進」：定期的な訓練や啓蒙活動 「安全運転の徹底」：社有車、フォークリフト、自家用車 「健康な身体づくりの推進」
87	伊賀	社会福祉法人 こもはら福祉会 第1はなの里 (名張市)	みんなで取り組む転倒防止 達成しよう無災害！	事業場内の主要な掲示個所にスローガンのポスターを掲示し、推進運動をアピールするとともに、脚立の使い方（天板での作業は不可等）について職員へ徹底を行った。
88	伊賀	双福鋼器株式会社 (伊賀市)	気を抜かず慣れた作業も再確認！ 想像力を働かせ、 潜む危険をあぶり出し、 しっかり対策ゼロ災職場！！	トライアルスローガンポスターを各所に掲示 安全委員による職場巡視の実施・安全委員会の実施（毎月） S K Y Tの実施 無事故無違反チャレンジ1 2 3参加による安全運転の意識向上
89	伊賀	株式会社タカキタ (名張市)	慣れた作業に予期せぬ危険 無理せず 無視せず 油断せず 初心忘れず安全作業	安全衛生委員会による毎月の社内安全パトロールの実施とヒヤリハット活動、リスクアセスメント活動を行い、労災ゼロに向けた職場の安全自主活動の活性化に取り組みました。 上記の活動を行い、期間中の休業及び障害を伴う労働災害の発生はありませんでした。
90	伊賀	中本ボックス株式会社 プロダクト事業本部 生産本部 名張工場 (名張市)	小さなヒヤリが事故のもと 危険を予知して安全作業	中本グループ全体で発生した労働災害について情報共有を図り、全従業員に類似災害の無きように発生状況や対策などを周知、注意喚起を徹底し危険への感受性を高める活動を行っている。 安全衛生委員によるパトロールに加えて、各部署に配属されている安全管理者によるクロスチェックパトロールを実施し、潜在的な危険個所を洗い出し、災害防止を図っている。
91	伊賀	株式会社丸栄建設 (名張市)	墮ちるな・落とすな 声かけ合って、 怪我をしない・怪我をさせない	社内無災害記録表にスローガンを貼り、安全施工サイクルの見直しを行った。安全パトロールでの巡視、品質管理と並行して安全管理のチェックを行った。各現場でのヒヤリハットの情報を共有して、社員全員の安全に対する意識付けの強化を図った。
92	伊賀	メロディアン株式会社 三重工場 (伊賀市)	職場では 一人ひとりが責任者 みんなで守ろう安全ルール	年間計画に沿って、毎月実施している安全巡回の他、リスクアセスメントの見直しとこれに伴う台風発生時の準備作業及び通過後の対応に関する標準化と訓練を実施しました。 各職場で月2回実施しているK Y T（危険予知トレーニング）では、実際の職場の事例をもとにディスカッションすることで、労災の発生防止を図りました。

No	監督署別	事業場名 (所在地)	スローガン	取組内容
93	伊賀	安永エアポンプ株式会社 (名張市)	作業前 必ずしよう危険予知 続ける努力が職場の安全	1. 異例作業時の手順書作成による危険予防活動の定着化 2. 作業前 K Y M の実施 3. 異例作業時の K Y M 実施 4. 変化点 (ライン増設、移動) 時の安全立会の徹底
94	伊賀	株式会社安永 西明寺工場 (伊賀市)	危険の気付きは見過ごさず 直ちに声掛け、 直ちに行動 みんなで達成しよう 「無災害」	各職場での気付き吸い上げ活動と、朝礼等での気付き事項周知活動 工場内の美化活動では水モレや油モレ等、特に床面の汚れを重点に活動 転倒リスク低減と、身近な部分からの改善意識向上を狙って活動しました。 期間内の災害発生、事故等はゼロ達成できました。
95	伊賀	株式会社安永 名張工場 (名張市)	安全は 見えない危険を見る力 相互注意で安全確保	足型マークでは、必ず一旦停止し左右確認を行うことを何度も朝礼等で指示。 一呼吸し周囲確認を普段から徹底することにより、災害は防ぐことができる事を教育。 毎月、ラインを決めて作業長以上で安全立会を実施し、対策内容の横展なども行った事により、リスク低減が出来た。
96	伊賀	株式会社安永 本社工場 (伊賀市)	”指差呼称”で しっかり確認！ はっきり声出し！ みんなで実践 みえる安全職場	構内での歩行横断時リスクを鑑みた結果「指差呼称」の必要性を感じ、スローガンに設定しました。併せて、全ての作業を始める前の基本動作であることから、本トライアル期間を第1ステップとして本社勤務者全員対象とした意識・行動調査実施、および構内のハザードマップを作成しました。 その結果を受け、リスクの高い箇所での指差呼称の必要性を考えさせる為の安全ビデオも自主製作し社内啓蒙しています。 本活動結果をふまえ、第2ステップではリスクレベルに応じた改善と指導教育を計画しています。
97	伊賀	株式会社安永 ゆめぼりす工場 (伊賀市)	守ろうルールと明るい未来 みんなでつかもう 無災害	1. 安全の日を設け、目線を安全に向けたパトロール実施 2. 安全作業・自責交通事故の K Y T (4 R 法) 実施で災害未然防止 3. リフト作業でのヒヤリハット・物損事故を受けて、部品事業部でリフト認定制度を設けて実作業実施 4. 工場レイアウト変更 (リフト通路、歩行帯の明確化等)
98	伊賀	株式会社ヤマタケ (名張市)	休業災害 0 件 不休災害 0 件 重機災害の撲滅 高めよう 一人ひとりの安全意識 達成しようゼロ災害	労使協調し、安全衛生管理体制のさらなる充実を図りました。 安全朝礼、K Y ミーティングの充実、パトロール実施の徹底を行いました。 フルハーネス型墜落制止器具の装着の徹底をはかりました。 送り出し教育、新規入場者教育の内容のチェックを完全実施しました。 災害防止協議会への積極参加の推進
99	熊野	株式会社伊藤工作所 本社工場 (尾鷲市)	確実なリスクアセスメント で、 事故、災害の発生を撲滅し よう	当工場では、熱中症対策として、空調服を購入し、作業員全員に支給しました。 当社スローガンを朝礼場所に掲示し、朝礼の最後に唱和を行いました。 毎月、各部署の部長参加による社内安全パトロールを実施。
100	熊野	株式会社井本組 (熊野市)	安全衛生管理の着実な実行 と、従業員一人一人の意識 と集中力で危険ゼロ	月 2 回の現場安全パトロールの実施をした。 月別安全目標を定めて活動を行った。

No	監督署別	事業場名 (所在地)	スローガン	取組内容
101	熊野	株式会社塩谷組 (北牟婁郡紀北町)	創業110周年 刻んだ歴史糧にして 未来へ	夏場は、熱中症対策を最重要課題として取り組み、こまめな水分補給や、休憩時間を細かい間隔で採るよう取り組みました。 創業110周年、歴史ある会社であるが故の慣れによるミスのないよう心がけるようにする事及び、表面に出てきた一つのミスから表に出てこないミスの可能性を考え、ミスの撲滅に努めるようにした。
102	熊野	株式会社岡本組 (北牟婁郡紀北町)	みんなで取り組み達成しよう 災害ゼロの明るい職場	安全担当者から「チャレンジアングラー2,000みえ」の取組み趣旨説明、及びポスター掲示、毎月の安全衛生パトロールの強化を行った。(安全衛生委員会、朝礼にて) 9月30日安全大会の実施。社長から災害事故防止の徹底についての講話により、トップの決断を周知徹底し、意識向上を図った。引き続き、労使協調のもと労働安全衛生活動を積極的にを行い災害ゼロを継続していきます。
103	熊野	紀州鐵工株式会社 (尾鷲市)	慣れにおごらず、 初心を忘れず、 無災害トライアル達成!	初心を忘れないように、施工方法の見直しや、毎朝での朝礼での一人一人の現場確認などKYなどで時間をかけてのミーティングの徹底。
104	熊野	株式会社五味建設 (北牟婁郡紀北町) 【工事名】 令和2年度土砂災害・地方道第12-分0001号一般県道矢口浦上里線道路改良工事	みんなで0災 みんなで努力 みんなが笑顔!	交通災害防止：運行ルートの危険箇所を洗い出し、危険予知マップを作成し運転手への教育実施。 過積載防止：積込バックホウにペイロードシステムを搭載し過積載防止を徹底した。 熱中症対策：野外に簡易テントを設置し日陰を設けた。水分の常備、作業時の服装は空調服を着る様にしました。
105	熊野	中部電力パワーグリッド株式会社 尾鷲営業所 (尾鷲市)	・自ら実践、仲間に声かけ 誰もが主役 安全活動 ・ちょっと待て! 「だるう」の前に 「かもしれない」!	【交通】日頃から一人ひとりが危険感受性を高め安全最優先を意識する文化の醸成 「無事故・無違反チャレンジ」への参加により個人の安全意識を高揚させた。併せて、小集団活動の実施により、所員一丸となって安全に対し取り組んだ。 【作業】災害防止に向けた能動的な安全啓発活動の展開 疑似体験(落下物・感電・つまづき・長梯子転倒)の実施により意識高揚を図った。また、時期的な災害事例(熱中症・蜂刺され)の注意喚起と再発防止策として、DVD視聴による意識啓発と対策の徹底を図った。
106	熊野	北越コーポレーション株式会社 洋紙事業本部紀州工場 (南牟婁郡紀宝町)	安全意識の更なる向上で 達成しよう 無災害	5S活動の推進、熱中症予防対策の推進、指差し呼称の徹底キャンペーンの実施、工場安全衛生大会の開催、安全週間パトロール、衛生週間パトロール等の実施、入社5年目以下の安全教育や社外研修の実施等の安全衛生活動を行いました。 取組期間中は、休業災害及び障害を伴う労働災害の発生はありませんでした。
107	熊野	ユウテック株式会社 (南牟婁郡紀宝町)	もうひと手間! もうひと確認!!	安全衛生委員会において、社内安全パトロールの結果の推奨事例及び是正指示・是正報告等を公表し全現場の安全への取組のボトムアップを図った。 さらに、毎月5名を指名して当月のヒヤリハットと翌月の安全対策内容を発表してもらって重要なヒヤリハット報告について、分析と改善をブレインストーミング形式で実施した。